



ル一  
テル

# 藤が丘だより

発行 月報委員会

発行日 2024年8月4日

No. 123

キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを  
理解し・・・それによって満たされるように。

エフェソの信徒への手紙 3章18-19節 ・ 新共同訳



わたしの隣人に対して、一人のキリストになろう

行って、あなたも同じようにしなさい。

ルカによる福音書 10章37節

---

ルター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 佐藤和宏  
〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘2-31-21 tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009  
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: [fujigaoka@jelc.or.jp](mailto:fujigaoka@jelc.or.jp)



第二の朗読でお読みいただいた、エフェソの信徒への手紙 3 章 14 節以下では、パウロが次のように祈っています。「キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解し、人の知識をはるかに超えるこの愛を知るようになり、そしてついには、神の満ちあふれる豊かさのすべてにあずかり、それによって満たされるように。」(18-19 節)

パウロが言っていることは、それぞれを具体的に表現することではないのだと思うのです。なぜなら、私たちは東京ドーム何個分、富士山何個分と、それが物凄く広く、高く、長く、深いと言い表そうとしたとしても、この世の何かでたとえる限り、そこに限界を作ってしまうことになるからです。どれほど大きいことを言いたいとしても、私たち人間がその知識において可能な限りの表現をもちいたとしても、それは制限することにしかならないからです。神の事柄は、人間の事柄では測れないのであり、イザヤを通して、主なる神が告げるように「わたしの思い、わたしの道は、あなたがたの思いと道を高く超えている」のです。それはちょうど、人々がイエスを見て、観察して、「自分たちの王」にしようと考えたことに似ていると言えるでしょう。主イエスはすべての人々の救いのために来られたのですが、彼らは自分たちのための王と誤解し制限しようと考えたのでした。人の思いを高く超えた神の思いを知るために、私たちは人間の思いに従って、神の事柄を推しはかろうとしてはならないのです。

今日、有名な奇跡物語が与えられたのですが、先週飛ばされて扱われなかった、マルコによる福音書の同じ奇跡物語ではなく、ヨハネによる福音書から聞くようにと設定されて

いるのは、人が人間の思いに従って、神のなされる業について判断しているからにちがいません。弟子たちは言っているのです。「ここに大麦のパン 5 つと魚 2 匹とを持っている少年がいます。」彼らが言っているのは事実についてです。しかし彼らはその事実をみて、次のように判断しているのです。「けれども、こんなに大勢の人では、何の役にも立たないでしょう」。弟子たちは人間の常識で「キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さ」を判断し、限界を定め判断したのです。しかし実際、人々が満腹した時、残ったパン屑を集めると、12 の籠いっぱいになったのでした。

キリストの愛の広さはどれほどなのでしょう。その長さ、高さ、深さはどれほどでしょうか。答えは「私たちには計り知ることはできない」、ここにあります。そもそも方向性がちがっているのです。キリストの愛は、無駄だ、無力だ、足りない、役に立たないという否定的にみえる事柄にこそ、十分に働いて、足りなさも弱さも力のなさも、祝福して用いられるのです。これが聖書にみる「奇跡」なのです。このことを教えるために、今日ヨハネによる福音書から奇跡物語が与えられているのです。無駄だ無意味だと思われるものを祝福される神は、それらを通して驚くべき御業を明らかにされるのです。

そのようにキリストの愛は、人の目に虚しく映った、十字架となって、私たちすべての者を罪から解き放す力となりました。これが私たちがイエスを通して見、そして信じるべき「奇跡」なのです。この奇跡である、キリストの愛によって、私たちはすべての人々と共に生きるのです。

(聖霊降臨後第 10 主日)

## ●戦争孤児を免れた夫

○藤○子

八月や六日、九日、十五日（ヒロシマ・ナガサキ・ハイセン）

戦争の”負”。

夫は昭和8年、浅草の近く本所の生まれ、五人男兄弟の三男坊、小学校は横川小学校。NHKのアーカイブで放映され、先輩にドリフターズのいかりや長介がいた。大東亜戦争が厳しくなり、東京の多くの学校が地方への疎開を始め、夫の学校も千葉の田舎のほうへ疎開したが、地元の子供に「疎開っ子」といじめられ、ずい分喧嘩したようだ。その時鎌で襲われ、胸のところに小さな傷あとが残っていた。

米軍の機銃掃射に遭い、ここは危険と岩手県花巻温泉の近くの志戸平（しどたいら）のお寺へ移住。そこは幾分のんびりできたが、食べ物がなく飢餓の生活。発育盛りの小6、小4の弟たちは、蛇を捕まえては焼き、赤トンボは細く削った竹串に刺し、羽を焦がさないようにこんがり焼く。それがご馳走だったと言っていた。食に満たされた世の中で生活している子どもは理解できず、絵空事のように聞いていた。

昭和20年3月10日、東京大空襲、本所は爆撃中心のようにメタメタに焼き尽くされてしまった。

その時義父は中島飛行場に駆り出され、長男は大本営学徒出陣、次男は通信所に動員、留守を守っていた義母は五男を背負い阿鼻叫喚の中、墨田川へ逃れどうにか助かった。夫たちは疎開先で大空襲のことを聞かされて、動揺した級友が東京へ帰ると線路を歩いていて機銃掃射で亡くなったとのこと。横川小学校では生徒が多く亡くなり、両親が亡くなった人も多い。義母は両親の住む吉祥寺へ助けを求め、敗戦となって無事家族が揃い、一家で居候していた。こうして夫は戦争孤児にならずにすんだが、級友たちと音信も途絶え卒業式もなかった。

戦後、孤児になった子供を虫けらのように扱い、人権など無視された時代、悲惨な時代。

あれから長い月日が流れ、戦争のことは忘却の彼方へと消えつつある。平和だからと思っていたのに、毎日のようにウクライナの傷ましい戦禍を見て、これ以上に泣く人を増やさないと願うばかり。戦争は勝っても負けても”負”が残る。隣人を愛して地球上で平和の続くことを。

## ●第29回東教区宣教フォーラム 『五感に響く豊かな礼拝』 Vol.2

○野○苑

7月6日、東京教会にて、『五感に響く豊かな礼拝』をテーマに、ジェームス・サック牧師とラビリンスウォーク・ジャパン世話人の武田光世氏をお招きした、第29回東教区宣教フォーラムを開催しました。私は実行委員になってから3年目となりますが、過去2年はコロナや家庭の事情で当日の出席が叶わず、今回初めて対面での参加ができました。今年は五感のうち、視覚、触覚、聴覚に注目

をし、午前中はサック牧師より、主がいつも私たちのために道を整えてくださるお話をいただき、また、武田氏からはラビリンスウォークの背景や瞑想の進め方についてお話をいただきました。午後はハーブの音色を聴きながら、実際に約3mx3mのラビリンスを歩いてみる体験を行いました。お手軽にできる指ラビリンスなどもありますので、ぜひ皆様も一度体験をしてみてください。

## ●○○野○子さんへ

小○○子

○野さんが藤が丘へ移り来てからまもなく、○野○江さんから○野さんより会って話したいと連絡があり、橋本の5階フロアならば丸テーブルと椅子もあるので待ち合わせ場所にしました。○野さんは何でもいろいろとお話しして下さい、つい私も心置きなくいろいろ質問してしまい、聖書のことや差別問題での部落民のことを聞いたら、とても詳しく端的に、その方たちに愛を込めて話をしていたのが印象に残っています。それから水さんのお宅でも家庭集を開いて下さり、大変お世話になりました。

昨年、コロナも下火になったので「橋本チーム」5人で久しぶりに5階フロアで待ち合わせをして食事をし、お茶をしてからちょうど一年が経ちます。感謝を込めて

## ●女性会だより

7月21日 14名参加。

司会、祈り 小○姉 讃美歌 416番

### 1 聖書の学び 創世記1章3節

神は言われた。「光あれ」 混沌とした状況の中で神は光あれと言われた。

混沌とした状況、何もおこらない無意味な否定し難い無駄と思われた中にも神の肯定があり、神の力がそこに働く。力は弱さの中で与えられた。弱さの中にいるときこそ神の力が働く。光は希望である。神の御言葉の聖書が大切であり、絶えず御言葉を聞き、神に問いかけていく事が信仰である。

参考箇所 詩篇8章1～10節

### 2 女性会例会

第26期東教区女性会 会長会&信徒の集い(7月13日 ルーテル学院大学内)の報告検討委員会



## 今月、受洗記念日を迎えた方

24日 ○田○郎兄

おめでとう  
ございます。



わたしの隣人に対して、一人のキリストになろう

「行って、あなたも同じようにしなさい。」

ルカによる福音書10章37節

●藤が丘教会の情報は、右のQRコードから



藤が丘教会女性会としての意見を検討委員会にあげ、今後他の女性会の意見や提案と共に検討委員会で協議していく事を確認した。

9月の敬老の日の贈り物を欠席した方々にお渡しする時に女性会の方々にもご協力をお願いする。詳細については改めてお伝えする。

次回例会 9月15日

## ●牧師室より



残暑お見舞い申し上げます。

教会前期の財政状況報告を受け、役員会では皆様に「緊急特別献金」をお願いすることになりました。目標は80万円。物価高騰など状況の厳しき折ではありますが、お支えいただければと思います。(佐藤)



スマートフォンで、こちらのQRコードを読み込むと、教会のさまざまな情報を、確認出来ます。